

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業			事業番号	011-246
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	環境薬務 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度		昭和 58 年度		点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		大阪府麻薬覚せい剤等対策本部要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		堺市				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		市民 (約83万人)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		市民が危険ドラッグを含む乱用薬物に対する正しい知識を身につける。特に小学生から大学生までの若い世代に対し学校等での薬物乱用防止教室の後方支援を行い、薬物乱用防止に係る意識の醸成を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		<ul style="list-style-type: none"> ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間 (6月20日から7月19日) 中に、大阪府とともに、街頭キャンペーンによる啓発 (R2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止) ・各区域で行われる「区民まつり」等で、パネル・映像等を使用したクイズによる啓発 (R2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止) ・市内学校で薬物乱用防止教室を開催するにあたって、要望に応じて啓発DVD (ビデオ) やパネルの貸し出し・啓発冊子の提供 ・広報紙・ホームページ・SNS等で積極的に情報発信を行う。 				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
11 啓発対象者の理解度	%	目標値	—	100	100	100
		実績値	—	—		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		啓発対象者の理解度が高いほど、薬物乱用に対する知識が向上したものと判断できるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		区民まつり等で啓発を行った後にアンケートを実施し、「理解できた」の回答者数/全回答者数×100で算出。100%を目標とする。R2年度よりアンケートを実施予定であったが、区民まつりが全て中止のため、実績値の入力はなし。				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 啓発リーフレット、冊子等の提供総数	人	目標値	12,000	18,000	18,000	
		実績値	24,131	14,429		
		達成率	201%	80%		
当該指標を選定した理由		学校の薬物乱用防止教室で啓発資料を利用してもらう等、確実に市民の手に啓発リーフレット等が渡った件数を指標とする。				
目標値の設定根拠・算出方法		学校等への提供数 (令和2年度より)				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業	事業番号	011-246
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 財源内訳	1,172	564	738	979	218
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 (シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業指定預金)				300	
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	1,172	564	738	679	218
14 人件費 (b)	6,572	7,857	7,099	7,099	7,954
15 年間経費(c)=(a)+(b)	7,744	8,421	7,837	8,078	8,172

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	旅費	R2	決算	0	0		R2	決算		
		R3	予算	18	18		R3	予算		
	需用費	R2	決算	916	679		R2	決算		
		R3	予算	200	200		R3	予算		
	備品購入費	R2	決算	63	0		R2	決算		
		R3	予算	0	0		R3	予算		
		R2	決算				R2	決算		
		R3	予算				R3	予算		
	R2	決算				R2	決算			
	R3	予算				R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分		単位	令和元年度	令和2年度
17	① 啓発リーフレット、冊子等の提供総数	枚	24,131	14,429
	② 上記①にかかる年間経費	千円	1,928	1,676
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	80	116
備考 (算出についての説明等)		リーフレット等の単価と提供数の積及び配布等に要した人件費		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

市内学校等へ啓発資材の情報を提供することによって、多くの学校において薬物乱用防止教室で啓発資材を利用してもらい、啓発活動の一役を担うことができた。令和2年度は区民まつり及びキャンペーンがすべて中止されたためリーフレットの配布枚数が例年より少なくなっている。

18 事業を推進するための取り組みとして、令和2年度は寄付金を活用した。今後は、街頭キャンペーン等の物品配布による啓発方法の見直しを行い、啓発パネル、DVDや薬物標本等の展示による啓発に切りかえていく。また、令和3年度より広報課公式SNSアカウントにおいて啓発情報の掲載を予定している。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 シンナー・麻薬・覚醒剤をはじめとする薬物の中には、医薬品として使用されているものも多い一方で、乱用すれば生命・身体に半永久的に危害を及ぼし、凶悪な犯罪を引き起こすなど社会的に重大な弊害をもたらすものもある。特にここ数年、未成年者の薬物乱用による検挙・補導者数が高い水準で推移しており、児童・生徒・青少年及び保護者等の市民に対する啓発が非常に重要である。

このような状況下で、当該事業では、毎年、多くの学校に対し薬物乱用防止啓発授業で使用する薬物標本や啓発用冊子、啓発用パネルなどの啓発資材の貸し出しを行うことで、学生への啓発に寄与している。

また、区民まつりに参加している市民に積極的に声かけをし、クイズに参加してもらい、一人ひとり答え合わせ及び解説を行うことで事で多くの市民に直接啓発を行なう事が出来ている。(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、区民まつりが中止となった。)